

1. 策定の趣旨と背景

水道は町民生活を支えるライフラインとして重要な役割を担っており、その事業運営にあたっては、安全で安心な水道水を安定して供給できる体制整備が不断に求められています。

特に、今後、水道施設の大量更新時代を迎え、併せて施設の耐震化など地震等の災害に備えた対策が必要とされ、投資的経費の増加が見込まれています。一方で、近年全国的にも、水道事業を取り巻く環境の変化により、水需要が低迷し、給水収益も伸び悩んでいる状況にあります。このため、水道事業の経営は今後、益々厳しくなると予想され、一層の効率的・安定的な経営が求められているところです。

こうしたなか、龍郷町では、「深い森、青い海、おいしい水」を基本理念とする「龍郷町水道ビジョン」を平成21年3月に策定し、水道事業のレベルアップを図ることとしました。

「龍郷町水道ビジョン」では、「安心」、「安定」、「持続」、「環境」、「国際」という5つの視点から基本目標を設定し、平成21年度～平成30年度までの10年間の計画期間で実施すべき具体的施策を位置づけています。前回の龍郷町水道ビジョン策定から10年経過していることから、これまでの取り組みを振り返り、改善点や継続すべき点、新たな課題整理とそれらを解決する具体的施策などについて検証すべき時期にあります。

また我が国の水道においては、料金収入の減少、水道施設の更新需要の増大、職員数の減少によるサービスレベルへの影響、東日本大震災や熊本地震の経験を踏まえた危機管理対策などの課題がますます顕在化してきています。このような状況の中、厚生労働省では、少子化傾向により今後も減少傾向が継続し、ごく一部の地域を除き、将来の人口増加を見込めない中での事業運営を踏まえ、平成25年3月に「新水道ビジョン」を策定、公表し、「安全」、「強靱」、「持続」を水道の理想像に掲げ、水道に携わる関係者等が一丸となって、枚挙にいとまがない課題に対し、地に足のついた対応を求めています。

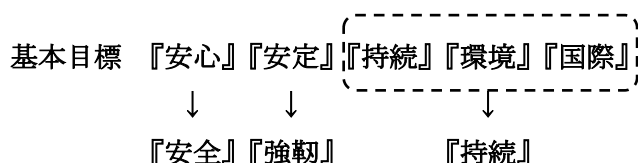
そこで、龍郷町内外の水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、今後の取り組みや目指すべき方向性を定めた「龍郷町新水道ビジョン」を策定します。

図表 1.3 水道の理想像

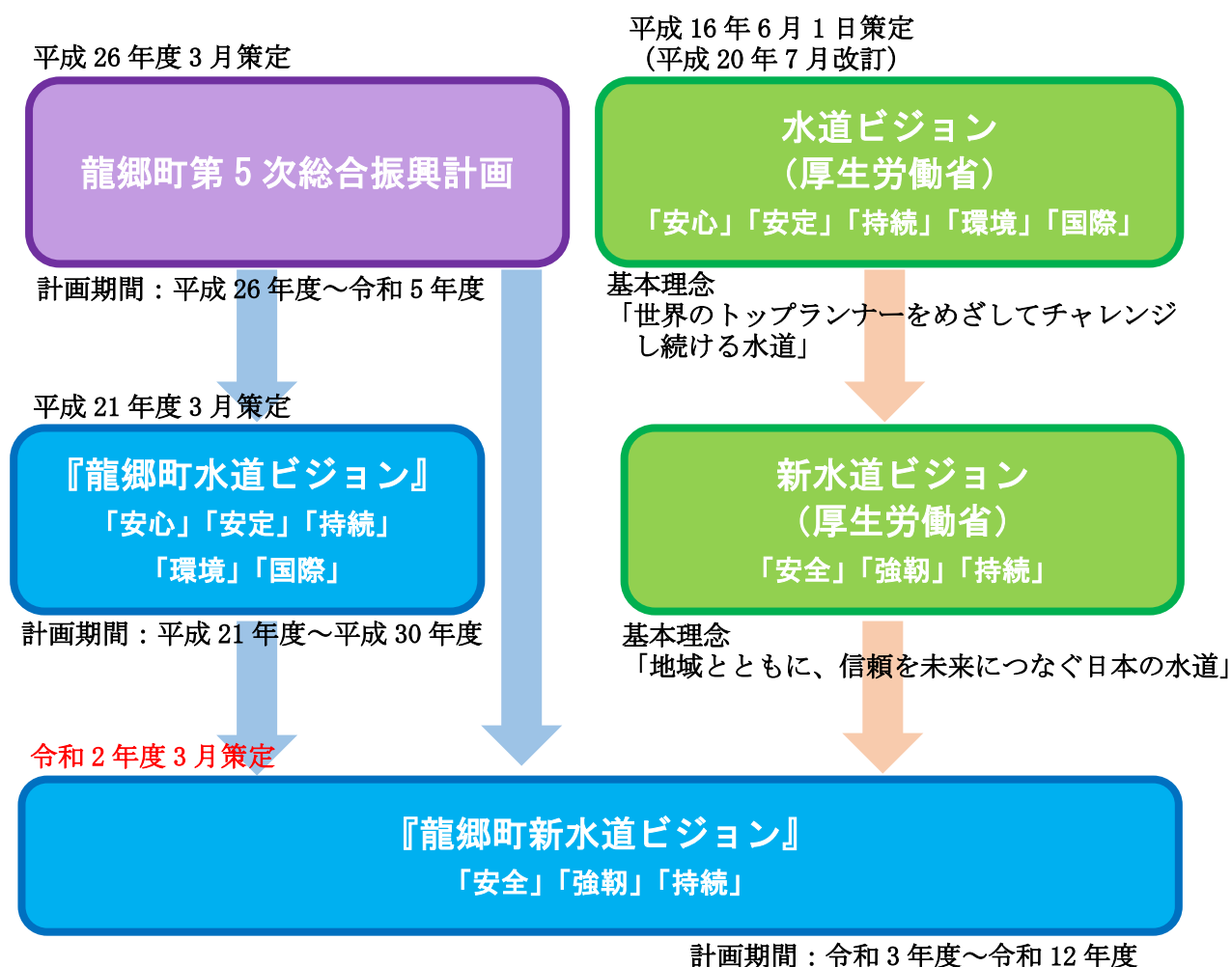


2. 「龍郷町新水道ビジョン」の位置付け

「龍郷町新水道ビジョン」は、「龍郷町水道ビジョン」を次に示すように厚生労働省「新水道ビジョン」の方針を踏まえ、次のように置き換えて策定します。



また、龍郷町の最上位計画である「第 5 次総合振興計画」（平成 26 年度から令和 5 年度）及び平成 21 年 3 月に策定した「龍郷町水道ビジョン」（平成 21 年度から平成 30 年度）との関連を考慮しながら策定します。



【 図 1. 龍郷町新水道ビジョンの位置付け 】

3. 計画期間

本水道ビジョンの計画期間は、当面の目標を 10 年後と定め、令和 12 年度とします。よって計画期間は令和 3 年度～令和 12 年度の 10 年間とします。